



先月14日、「多賀城市あやめまつり」に参加しました。多賀城城南道院拳士を中心に当道院拳士で演武披露を行いました。当日は、多数の観客の中、好天に恵まれました。参加いただいた拳士の皆さん、ありがとうございました。

多賀城「あやめまつり」で演武披露



2026.06.14 多賀城市あやめまつりで



2026.06.17 杜都道院おたのしみ会で

杜都道院お楽しみ会を開催

先月17日(水)、古城コミセン調理室を会場に「新入門拳士の歓迎」と入院しております「大城拳士の快気祝い」を兼ねて「お楽しみ会」を開催しました。

当日は、「豚しゃぶ」をメインに吞んで食べるのあつという間の2時間でした。皆さんで十分に懇親を深めることが出来ました。ありがとうございました。

大澤隆管長 縁起

同じ志を持つ仲間とともに

7月を迎え、梅雨明けとともに本格的な暑さが始まる季節となりました。

さて金剛禅では、先月までに、道院長講習会1次から5次までを無事終えることができました。1次、2次は本山中、3次以降は本山から出向いて開催いたしました。全国の道院長の先生方と再会し、語り合う中で、人づくりに懸ける熱意と少林寺拳法による金剛禅運動を支える大きな力を改めて実感することができました。

講習会には、何十年も道院長として歩んでこられた先生方もいれば、道院長となつて間もない方、参与道院長として道院運営を支えてくださっている方もおられます。しかし、立場や経験は違つても、「人を育てたい」という志は皆同じですし、自ら修行を重ねながら、他人の「主体性」の成長を願い、支え続けている方々ばかりです。

そのような先生方が一堂に会すると、鎮魂行の唱和でも見事に調和し、道場全体が一つになるような心地よい空気に包まれます。同じ志を持つ者同士だからこそ生まれる、大きなエネルギーを感じました。ぜひ道院でも鎮魂行で自他の調和を意識して心地よい、大きなエネルギーをつくり出し、技法修練にもつながるように感じてください。

今後の予定

- ◎ 7月19日(日) 宮城武専(青葉体育館)
- ◎ 7月26日(日) 特別稽古(塩竈道院専有道場)
- ◎ 8月11日(火) ～ 16日(日) お盆休み
- ◎ 8月13日(日) 宮城県大会(塩竈市体育館)

さい。

そして開祖忌法要で流された開祖法話に、「金剛丸」のお話がありました。金剛丸とは、多くの人を乗せて目的地、理想境へ向かう船として例えられます。この船は、船頭任せにしたり、乗客になって好き勝手に言うのではなく、皆が同じ目的を持ち、それぞれの役割を果たすことで前へ進めようとい

2026.06.14 観客の様子（多賀城市あやめまつり）



う、目的意識を再確認するお話でした。

組織を活かし、私たちが開祖の志を受け継ぎ、自他共楽の精神のもと、仲間と力を合わせて平和で豊かな社会の実現を目指して歩み続けて行くことと、人づくりを掲げる金剛禅にふさわしい運動となつて行くために共に頑張りましょう。

皆様には、本格的な暑さを迎えますので、体調管理には十分ご留意ください。暑さで十分に身体を動かせない日には、問法修学を取り入れて教えを学び直すことも大切な修行です。身心を整えながら、今月も共に修練に励んでまいりましょう。

中国古典 紹介

い すなわ うら
忌めば則ち怨み多し

『左伝』

「忌む」とは嫌うこと。対人関係でそんな感情を露骨に出すと、人の恨みを買うことが多くなるといふのだ。当然と言えば、当然のことである。

とは言え、どうしても好きになれない相手というのは必ずいるものだ。しかし、そんな相手でも、距離を置いて淡々と対すれば、それでよいのではないか。ことさらに嫌悪感など示すのは愚の骨頂であろう。

2026.06.17 杜都道院おたのしみ会で



「忌めば則ち怨み多し」を、とくに肝に銘じておいてほしいのは、人の上に立つ人間である。リーダーが部下に対して、あいつは嫌い、こいつはいやだとえり好みをしていたのでは、組織はガタガタになってしまう。

リーダーは公平な態度で部下に接しなければならぬ。これはリーダーの重要な条件である。この公平原則を破る大きな要因の一つが、えり好みである。その結果、感情的な人事がまかりとおる、そのムリはいづか必ずリーダー自身の身にはね返ってくるのである。